

# 会 議 録

会議の名称	第1回東由利まちづくり協議会
開催日時	平成29年8月24日(木) 午後2時から午後4時まで
開催場所	東由利総合支所 2階 第3会議室
出席者氏名	別紙出席者名簿のとおり
欠席者氏名	別紙出席者名簿のとおり
<p>【会議次第】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 開会</li><li>2. 委嘱状交付</li><li>3. 総合支所長あいさつ</li><li>4. 委員自己紹介・市側出席者紹介</li><li>5. 会長・副会長選任案件</li><li>6. 説明 (1)まちづくり協議会とは  (2)前任期の協議会活動・「東由利まちづくりビジョン」について</li><li>7. 協議 (1)協議会活動の進め方について (2)今後の協議テーマについて</li><li>8. その他</li><li>9. 閉会</li></ol>	
会議の経過	別紙のとおり

## ◆出席者名簿（敬称略）

（出席委員：15名）

役 職 氏 名	出 欠 (○・－)	【行政出席者名簿】
会 長 畠 山 与 一	○	総 合 支 所 長 佐 藤 博 敦
副 会 長 長 谷 山 恵 子	○	振 興 課 長 遠 藤 正 人
委 員 大 庭 時 晴	○	市 民 福 祉 課 長 小 野 利 彦
委 員 千 葉 覚	○	建 設 課 長 小 松 達 也
委 員 遠 藤 基	○	産 業 課 長 太 田 明
委 員 小 野 勁	○	教 育 学 習 課 長 田 口 陽 一
委 員 阿 部 真 知 子	○	振 興 課 参 事 兼 課 長 補 佐 長 谷 川 潤 一
委 員 石 渡 香 菜 子	○	振 興 課 課 長 補 佐 高 橋 一 心
委 員 佐 野 拓 和	○	地 域 振 興 課 課 長 補 佐 兼 班 長 菅 野 基
委 員 佐 藤 則 子	○	地 域 振 興 課 主 査 長 澤 辰 徳
委 員 大 沼 武 彦	－	
委 員 畠 山 繁 光	○	
委 員 大 庭 朋 和	○	
委 員 梅 津 正 明	○	
委 員 小 松 幸 円	○	
委 員 小 野 純 恵	○	

## 会議の経過

### 第1回東由利まちづくり協議会

日時 平成29年8月24日（木） 午後2時  
場所 東由利総合支所 第3会議室  
出席者 委員15名（欠席1名）  
東由利総合支所8名、地域振興課2名

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 総合支所長あいさつ
4. 委員自己紹介・市側出席者紹介
5. 会長・副会長選任  
会長に畠山与一氏、副会長に長谷山恵子氏を選任。

#### 6. 説明

- (1) 「まちづくり協議会とは」について地域振興課より説明。  
資料により説明。
- (2) 「前任期の協議会活動・東由利まちづくりビジョンについて」事務局説明。  
資料により説明

B委員： 前任の委員で、何か事業を企画してやったことがありますか。

N委員： 専門部会のメリット・デメリットについて話があったが、自分の所属しない部に意見を出せない、内容を聞けないとあったが、全体会で意見をもらってきた。デメリットの部分は大きな問題にならないのではないか。専門部会に興味があるところ、関わりがあり精通しているところに所属するので深く活動でき、決してマイナスではないと思う。

P委員： 前は提言することがメインで、実践という部分はなかった。提言されて実践されたかということは重要だが、中には提言しっ放しで実現されないこともしょうがない部分があったが、教育文化部会ではスキー場にシーズン券が欲しいという意見に対し、実際にシーズン券が作られた。まちづくり協議会から出た意見を元に行政が動いたことはあったが、委員が具体的に動くことは無かった。今回は実践させてもらえそうなので楽しみだ。

#### 7. 協議

- (1) 「協議会活動の進め方について」事務局説明

事務局： まちづくり協議会については、市が書いたシナリオに沿って委員が動くのを避けた。前任期のビジョンの後、新任期で何をすればいいのかという疑問がある。状況としてはこの2年で本質的に変わらないので、ビジョンを更新することを活動のメインにすることは活動の意義として疑問がある。会の進め方も、フリーに意見を出していただくところから始めてほしい。大きな柱としては、常に全体として動くのか、部会を設定するかがある。(2) 「今後の協議テーマについて」に大きく関わる。地域の課題を洗い出そうとすれば、部会よりも課題を持ち寄り全体会で披露してもらい、どう部会を設置するか、いくつに分けるか、設置しないで皆で考えると色々なパターンがある。現任期の委員は前任期よりも少なくコンパクトになっている。部会を持つかどうか事務局では予断を持っていないの

で、話し合いの中で、決定願う。(2)を念頭において意見をいただきたい。

議長：事務局では(1)に案は無いということなので、意見を出してもらいながらその中から最終的な方向性を出すことになります。

E委員：前回は委員をしていたが、部会にしないで最初から皆で話し合うとなると問題点が多すぎると思う。ビジョンにある問題点は昨年まで話しつくされたもので、前回の課題を元にして、前回と同じく部会に分かれて始めた方がスムーズに進むのではないかと。

議長：今までの成果・部会を継承していったらと言う意見だが。

M委員：前回は3部会だったが、今回15名ということで、3部会となると5名体制、正副会長除くと4人だが、欠席いると2、3人になるケースある。部会を設けるならば今回は焦点を絞って2つくらいにして話し合ったほうがよい。全体会でお互いに話したことを部会を越えて話できればよい。

議長：人数が少なくなっている中で部会の設置そのもののこと、欠席者が出ると会議が出来るのか危ぶまれる。部会設置にしても絞ってはという意見だが。皆さんからも忌憚りの無い意見を。

E委員：先ほど昨年までどおり3部会と言ったが、人数のことや絞り込むことが重要なのでM委員の意見に賛成する。

D委員：M委員の意見に賛成する。皆で一緒に討議してもまとまりにくいので、2つくらいに分けて部会を開く方が話しやすいしまとめやすい。

A委員：どういうテーマで絞り込むかが大切。自治会の問題点。人口が減って自治会をどうしようかという問題を自分なりに皆さんと話し合いたい。部会でこみっと話できるような人数であればよい。他の部会の話がわからないとあったが、他の部会にも参加可能なように緩やかな部会にできればいいのだが。

J委員：意見が通りやすいとすれば10人以下で集まった方が発言機会が増える。2つくらいに分けて、相談してみたいことをアンケートをとって、それぞれの希望があるがテーマで分かれてもどこかでつながる。それを事務局に投げかける形。2部会に分けて次回やってみてはどうか。

G委員：多く部会を設ければよいわけではないので、絞り込んだ2つくらいで。新たに何か考えなくても、前回までの案件の中で今年話し合ってもよいような案件もあるのではないかと。前任の人たちもいるし、精査すれば話もしやすい。

L委員：前回は6、7人の部会に分かれていたようだが、今回は2つくらいが妥当と思う。部会で話し合った内容で全体会で共有できれば問題ないと思う。

H委員：前回は委員だったが、自分の中ではどこかが中途半端な、途中で終わってしまった気がする。何を絞って何をすればよいかまだわからないが、何が一番大切か考えてみると、住民がいい気持ちで暮らしていけるような、そういう方向で課題にしていければ。かといってどれを挙げればよいかまだわからない。

F委員：前回産業建設部会では、課題が多すぎて何も解決に至らなかった。絞込みが重要。課題ばかりあっても何一つ解決しなければ意味が無い。

C委員：自治会連絡協議会と一緒に要望とか提言事項多いのではないかとと思うが、まちづくり協議会は部会ごとに議論する点が違う。まちづくりだから問題があって追求して(まちを)作っていかなければならないという点が根底にあると思う。いずれにしろ問題を提起して協議会全体として取り組んでいき、優先順位をつけて一つ一つ話し合い、解決していくことが重要。部会ごとに問題出すとしても各部会の人にもどう伝わっていくかわからない。要望として考えていたこととして、八塩パークゴルフ場の整備が進んだが、まちづくりの点で人を呼び込めることを、例えば年間パスとかを話し合っただけで協議してはと思った。

N委員：アンケートを提出したが、内容をまとめてもらって、その中から絞り込んで、部会を作るのか、全体として一つ一つ意見を出すのかわからないけれど。アンケートの内容は身近に感じていることなので、この中から方向性を見出してはどうか。

議長：初会議の中で2つなりにしぼるところまでは、と個人的には思うが、事前のA

ンケート調査を集約してもらって、どのような大きな問題点が出てきているか精査した中でそういうものをこの次の会議に出してもらいそれを元にした分科会なり全体会で話をするのが良いのではないかという意見でした。

B委員：皆さんの意見の中から実践できるもの、出来れば一回皆でまちづくりのため同じ行動を共にして東由利のまちづくりを進めたいと考えています。2つの案にして、そういう方向性で皆が同じ心でやっているんだというものにしたい。

O委員：前回も委員だったが、生まれてずっと東由利に居てもわからないことがたくさんあって、楽しく勉強になりました。こういう会が無いと行くことが無かったところとか、私たちがいかに東由利を知っていくかが大事だった。結果を出すことも必要なのかもしれないが、私たち自身が東由利をどう好きになっていくかが本当に大事なこと。昨年まで市民福祉と産業建設部会で重なっている案件が多いという意見があった。ここは一つにするとか、教育文化部会も子どもの部分はひとつにできれば。一つ一つ話をしていく中で勉強になり、すぐ結果がどうのではなく長い目で見ていきながらやっていければよい。

P委員：まちづくり協議会の立場というのは、行政と市民との梯だと思う。実践とは言ってもただ協議会で我々がただ1日何かやればいいのではなく、東由利を良くするために代表として町の人を巻き込んで何かをやるためのことを皆で考えて、提言に対して何かできることが無いか考えて改善していければいい。これを部会に分けたとして何人かの意見でまとまるのか。部会が違ってても良い意見を持っている人がいるかもしれない。全体で「今日はこのことを話し合う」ということを立てて、グループ討議で皆が意見を言える雰囲気を作って意見をまとめたらと思う。東由利を良くするために率先してやれる、考えられる我々になりたい。問題点を率先して考え、地域の人に呼びかけられる実践でありたいと思う。

議長：全体会の中でテーマを絞り込んで、複数のグループで議論して全体会のものにするということと、部会として3つあったものをまとめて2つにしたらという意見が出ている。全体的にN委員が言われたような事だと思う。どのようにしたら話し合ったことが活かされ良くなるか議論する場である。

事務局：事前にアンケートをしているが、おそらくビジョンを見て、討議して各委員の中で課題に対する意識が変わってきたのではないかと感じた。改めて話し合いたいテーマ、問題意識を挙げてもらい取りまとめてから次回全体で集まり、その中で会議の持ち方を考えた方がよいのではないと思った。まず、たたき台として最初に思いついた課題・意識を全員に知ってもらった上で部会をどうするか。部会で重なる部分も多い、横断的に部会に行ければということもあった。あり方を次回話し合い決められるようにと思う。進め方とテーマは切り分けられない。委員の考えを引き出せるようにわかりやすいアンケートを改めて実施をしたい。それを経てから2回目の会議で結論を出してみたいか。

A委員：事務局に負担をかけている。本日はフリーハンドで言いたいことを言って終わっていいと思う。集約しきれないが、運営部会のような役員会のようなものを開いて体制も自分たちで決めていくのがこの会としてよいのではないか。自分たちでやりましょう。全体会の前に役員会で運営方向を決め、全体で大きな方向性を自分たちで決めるのはどうか。

O委員：役員会のメンバーを決めないといけない。

B委員：次回に集約して進め方・部会をどうするか託していいのではないか。

M委員：再度アンケートを取ることなので、どういうテーマがあるか絞られてくる。その後の運営部会とは別に、全体会を開く前に正副会長、それに前任の会長と経験のあるH委員をアドバイザー的に加わってもらって、こういうふうにするとうと決めてもらう会をやってもらったほうがよいのでは。A委員の意見の通り。

一同：賛成。

議長：次回に向けてそのように進めていきます。  
次第の次の8その他に入ります。事務局から。

事務局：今後の役員会的なものについての連絡のみ。

議 長： 本日の議事はこれで終了いたします。